

2020年度 第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報

令和2年8月3日付けで、「2020年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報（2020年8月～12月）」が発表されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産資源研究所が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、マサバ・ゴマサバの漁況予測を行ったものです。宮城県海域に関係する予報が出されたのは、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ及びゴマサバで、予報内容は以下のとおりです。

〈今後の見通し（2020年8月～12月）〉

●海況（対象海域：房総～常磐南部海域）

見通し：房総～常磐南部海域は「平年並」～「やや高め」で推移する。

●マイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：房総海域では前年を上回る。三陸以北、道東海域では前年並。

(2)漁期・漁場：まき網の漁場は、8月～9月には房総海域、三陸海域、道東海域、10月には道東海域、11月～12月には三陸～房総海域で漁場が形成される。定置網は、各地で期を通じて漁獲されるが、期の後半以降に本格化する。

(3)魚体：10 cm～15 cm 前後の0歳魚、14 cm～18 cm の1歳魚、15 cm～19 cm の2歳魚、18 cm～21 cm の3歳魚、19 cm 以上の4歳魚が漁獲される。

●カタクチイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：房総・常磐海域では前年並。三陸南部海域では前年を上回る。三陸北部海域、道東海域ではまとまった漁獲がない。

(2)漁期・漁場：道東海域、常磐～房総海域の1そうまき網の主な漁獲対象にはならない。三陸海域の定置網、房総沿岸海域の2そうまき網は期を通じて漁獲される。

(3)魚体：0歳魚は11 cm 以下、1歳魚は12月で10 cm～13 cm。

●マサバ及びゴマサバ（対象海域：犬吠～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網等）

(1)来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳魚は前年を下回る。4歳魚は前年を上回る。5歳魚は前年並。6歳以上は前年を下回る。7歳魚以上は前年を上回る。マサバ全体としては前年並。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては前年並。

(2)漁期・漁場：定置網は期を通じて漁獲される。まき網漁場は、8月～10月は道東海域～三陸北部、11月～12月は三陸南部～犬吠海域に主に形成される。

(3)魚体：マサバはまき網では26 cm～36 cm（3歳魚～7歳魚）主体に、定置網・底びき網では22 cm～27 cm（2歳魚）主体に、26 cm～36 cm（3歳魚～7歳魚）も漁獲される。

※詳細については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ（<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2020/20200803/index.html>）に掲載されております。